



## 除外グループの設定の削除

除外グループを Cisco Unified Communications Manager データベースから削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

1. 削除する除外グループの名前が記載されたテキスト ファイルを作成します。
2. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3) を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている除外グループを削除する手順は、次のとおりです。



(注) 削除トランザクションに、bat.xlt を使用して作成した挿入トランザクション ファイルを使用しないでください。代わりに、削除が必要な除外グループのレコードの詳細情報を記述したカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションには、このファイルしか使用しないでください。このカスタム削除ファイルには、ヘッダーを指定する必要がありません。名前の値を入力します。

### 手順

**ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [Intercompany Media Service] > [除外グループ (Exclusion Group)] > [除外グループの削除 (Delete Exclusion Group)] の順に選択します。

[Intercompany Media Service の除外グループ設定の削除 (Delete Intercompany Media Service Exclusion Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [削除 Intercompany Media Service の除外グループ、検索条件: 名前が次のカスタムファイル内にある (Delete Intercompany Media Services Exclusion Group Configuration)] ドロップダウン リスト ボックスで、削除に使用するカスタム ファイルのファイル名を選択します。

**ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。

**ステップ 4** 検索条件に一致する除外グループが表示されます。

**ステップ 5** [送信 (Submit)] をクリックして、除外グループを削除するジョブを作成します。

[一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。ジョブの詳細については、[第 82 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.83-3) を参照してください。

**追加情報**

「[関連項目](#)」(P.76-2) を参照してください。

## 関連項目

- 「[除外グループの設定の挿入](#)」(P.75-1)
- 「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3)
- 「[ジョブのスケジュール](#)」(P.82-1)
- 「[BAT ログ ファイル](#)」(P.83-3)